

平成24年度

事務事業評価表（平成23年度の実績評価）

記入年月日
平成 24 年 4 月 12 日

事務事業名		総合型地域スポーツクラブ育成事業				区分		事務事業No.	30413614	
						<input checked="" type="checkbox"/>	分野別主要事業	課内No.	14	
		政策体系上の位置付け				<input checked="" type="checkbox"/>	未来プロジェクト事業	事務事業主管課		
政策体系	総合計画の施策名	304 生涯スポーツ活動の振興				<input type="checkbox"/>	市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会	
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/>	合併建設計画事業	所属課	スポーツ振興課	36
	施策名	4	生涯スポーツ活動の振興			<input type="checkbox"/>	新規事業	<input checked="" type="checkbox"/>	継続事業	廣澤 由哲
	基本事業名	1	スポーツをする機会の充実			<input checked="" type="checkbox"/>	単独事業	<input type="checkbox"/>	補助事業	グループ スポーツ振興
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	塚本 真吉	
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		<input type="checkbox"/>	単年度のみ	
	1	10	6	1	2	保健体育総務事業		<input type="checkbox"/>	単年度繰返し（年度～）	
法令根拠	スポーツ振興法					<input type="checkbox"/>	期間限定複数年度（年度～年度）			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要（事務事業の内容、担当が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事務事業の内容】

- 生涯スポーツ実現に向けた、地域におけるスポーツ環境整備を目的とし、住民主体に取り組んでもらう事業である。
- 平成22年10月24日スマイルクラブとして設立。現在会員129名、会費制で運営。
- 各スポーツ教室とイベントを実施
- クラブ員募集のためのチラシ作成、配布、クラブ会報誌の発行。

【担当が行う業務の手順】

- クラブの後方支援(公共施設の予約、広報紙への掲載依頼等)

【事業費の内訳】

- 補助金
- 会費

(1) 事務事業の目的

①手段(23年度 実際に行った主な活動)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位
会員募集チラシの配布・クラブ会報誌の発行・各スポーツ教室とイベントの開催	ア 各教室の開催・イベント参加者人数	人
	イ 教室の開催数	回
	ウ	
②対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
市民	ア 7歳以上の人口(4.1現在)	人
	イ 市民の理解度	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位
運動をしていない、する機会のなかった市民がスポーツをする機会を得られる。地域交流の輪を広げられる。	ア スポーツ教室参加人数	人
	イ	
④結果(どんな結果に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
健康で明るい豊かな生活を送っていきける。	ア スポーツを通じて健康で明るい生活が送れている人の割合	%
	イ	

(2) 指標値の推移

区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(計画)	(目標)
⑤活動指標	ア 人							
	イ 回		7	25	25	25	25	25
	ウ							
⑥対象指標	ア 人	45,961	45,569	45,108	44,283			
	イ							
	ウ							
⑦成果指標	ア 人		229	293	264	300	300	300
	イ							
	ウ							
⑧上位成果指標	ア %			70.3	65.1	70	70	70
	イ							

(3) 投入量(事業費)の推移

区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(計画)	(目標)
事業費	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	使用料・手数料	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	0	100	100	100	100	0
	事業費計(A)	千円	0	100	100	100	100	0
人件費	正規職員従事人数	人		3	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間		1,828	300	300	300	300
	人件費計(B)	千円	0	0	5,558	912	912	912
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	100	5,658	1,012	1,012	912

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

平成12年度制定された文部科学省の「スポーツ振興基本計画」のなかで、生涯スポーツ実現に向けた、地域におけるスポーツ環境整備のための重点施策として「10年間で、全国の市町村において、少なくともひとつは総合型スポーツクラブを育成する」という目標が掲げられている。当市でも総合計画のなかで、総合型地域スポーツの設立を掲げた。平成20年体育指導委員が中心となり設立準備をすすめ、平成21年7月に新たに委員を公募し34名で準備を進めた。平成22年10月「桜川スマイルクラブ」として設立された。現在会員129名

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

身近なところで教室を開催してほしい。

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ育成事業	事務事業No.	30413614	所属課	スポーツ振興課
-------	------------------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) スポーツクラブに加入することにより、スポーツに親しみきっかけとなり、また地域の人たちとの交流をもつことができる。健康で明るい生が送れ、生涯スポーツ社会の実現に結びつく。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) スポーツクラブに加入した市民が、健康で明るい生活を送ることが出来る契機となる。スポーツクラブは、住民主体のクラブであるが、軌道に乗るまで後方支援が必要である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) 対象は市民であり妥当である。市民誰でも加入できスポーツに親しむ機会ができる。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) H22年度にクラブ設立をし、今後このクラブの運営の手法にかかっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 住民主体によるスポーツや文化活動をする環境づくりが停滞するばかりでなく、地域コミュニティの場が育成されない。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 22年度クラブが設立できたので、育成支援は必要であるが期間を限って、自主運営が出来るよう指導する。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) クラブが設立したので、今後は後方支援となる。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 市民を対象とした総合型地域スポーツクラブの設立、育成事業であり妥当である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 広く市民に周知し、魅力あるクラブに育っていくには、開催する教室の内容、実施するための講師、施設の確保などにかかっている。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(3)-1 改革改善策 市民の皆さんに一人でも多く加入してもらうため、教室やイベントで参加者を募集する際は、市の広報に募集記載をお願いするなどする。また、クラブ員からの要望に答えた企画をし魅力ある教室を開催する。																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 参加したい教室の開催。施設の確保、会員の希望を聞き、施設の確保も含み開催できるか検討する。																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項